

サントリー天然水 南アルプス白州工場及びサントリー白州蒸溜所への
グリーン水素導入に向けた日本最大のP2Gシステムによるエネルギー需要転換実証を開始

2025年10月11日

山 梨 県
サントリーホールディングス株式会社
東 レ 株 式 会 社
東京電力ホールディングス株式会社
東京電力エナジーパートナー株式会社
カナディビア株式会社
シーメンス・エナジー株式会社
株式会社加地テック
三浦工業株式会社
ニチコン株式会社
株式会社やまなしハイドロジェンカンパニー

山梨県（県庁：山梨県甲府市、知事：長崎幸太郎）並びに技術開発参画企業10社^{※1}は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のグリーンイノベーション基金事業による助成を受け、サントリー天然水 南アルプス白州工場（山梨県北杜市、以下「天然水工場」）及びサントリー白州蒸溜所（山梨県北杜市、以下「蒸溜所」）の脱炭素化に向けた「カーボンニュートラル実現へ向けた大規模P2G^{※2}システムによるエネルギー需要転換・利用技術開発」に係る実証として、本日からグリーン水素の製造及び、天然水工場での利用を開始しました。

今回、設置するグリーン水素製造設備の能力は16MWと日本最大であり、24時間365日稼働した場合、年間2,200tの水素を製造し、16,000tのCO₂排出量の削減が可能です。

利用面では、高効率かつ低NO_xの水素ボイラを開発し、天然水工場で使う熱源の一部を化石燃料（天然ガス）から水素に転換する実証を進めてまいります。併せて、天然水工場及び蒸溜所の脱炭素化とともに、周辺地域での水素の活用拡大を推進していきます。

今後、2026年末までの期間で再生可能エネルギー由来の電力の調達からグリーン水素での蒸気製造に至る一連のシステムを実証することにより、将来の再生可能エネルギーの大量導入に併せ、様々な地域や場所への当該システムの展開を目指してまいります。

また、自然豊かな北杜市白州で、本システムがグリーン水素の供給ハブとなり、将来的に多くの方に親しまれることを目指し、実証地を「グリーン水素パーク -白州-」と命名しました。

山梨県並びに技術開発参画企業10社は引き続き密に連携し、カーボンニュートラル社会の実現に向け、固体高分子（PEM）形水電解によるグリーン水素製造の技術開発に加え、水素エネルギーの需要拡大へ積極的に取り組んでまいります。

※1：東レ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：大矢光雄）、東京電力ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表執行役社長：小早川智明）・東京電力エナジーパートナー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：長崎桃子）、カナデビア株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役 取締役社長兼 CEO：桑原道）、シemens・エナジー株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長兼 CEO：ラッセル・ケイト）、株式会社加地テック（本社：大阪府堺市、代表取締役社長兼 CEO：松岡克憲）、三浦工業株式会社（東京本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 CEO 兼 CTO：米田豊）、サントリーホールディングス株式会社（本社：大阪府大阪市北区、代表取締役社長：鳥井信宏）、ニチコン株式会社（本社：京都府京都市、代表取締役社長：森克彦）及び株式会社やまなしハイドロジェンカンパニー（YHC）（本社：山梨県甲府市、代表取締役社長：中澤宏樹）

※2：Power to Gas システムの略称 再生可能エネルギー由来の電力を活用し、水の電気分解から水素を製造する技術